取扱説明書

オブジェクトユニット
SDD3

この度は丸茂電機製品をお買いあげいただき誠にありがとうございます。機材を取り付け・設置・使用される前に、この説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。また、大切に保管していただき、必要に応じてご参照ください。

 この製品は舞台・スタジオ用照明機材です。

SDD3

定格・仕様

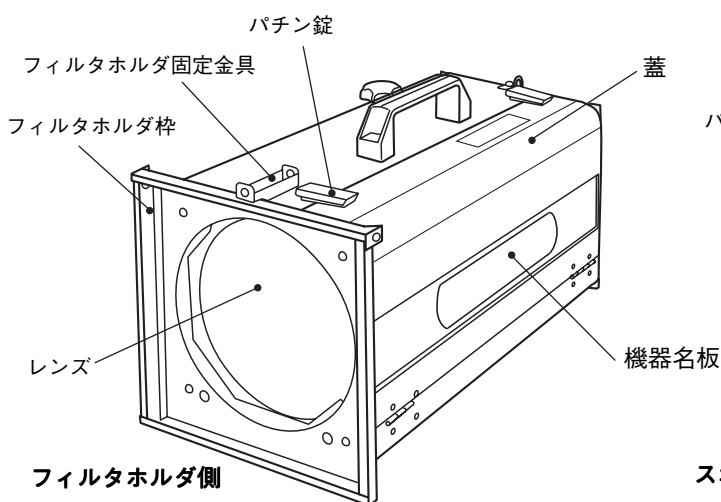
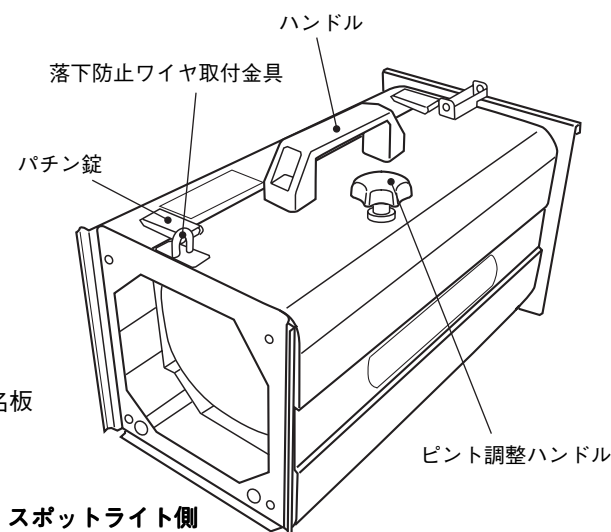
型式名称	SDD3-4	SDD3-6	SDD3-8	SDD3-10	SDD3-12	SDD3-16
本体質量	4.6kg	4.8kg	4.6kg	5.0kg	4.8kg	5.2kg
開き角	67 度	47 度	36 度	30 度	25 度	19 度
適合マシン	VSD シリーズ・NCD シリーズ・MCCD シリーズ・旧丸茂マシン (VS・NC・RP)					
本体材質	鋼板					
表面仕上	黒塗装					
適合フィルタホルダ	IRM-60A					

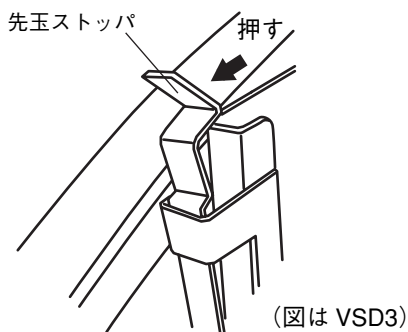
機器名板の解説

①舞台・スタジオ用照明機材を表すマークです。

②型式名称：照明機材の型式名称を表示しています。

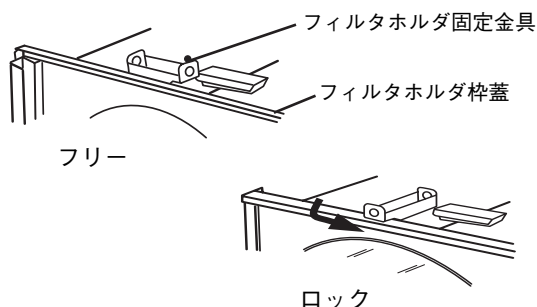
③本体質量：照明機材本体の質量を表しています。

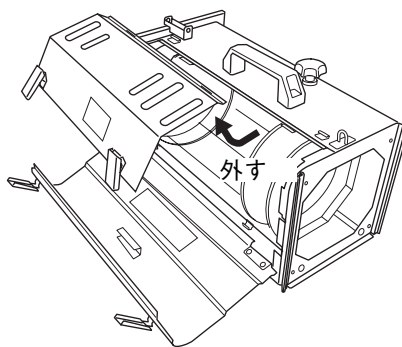
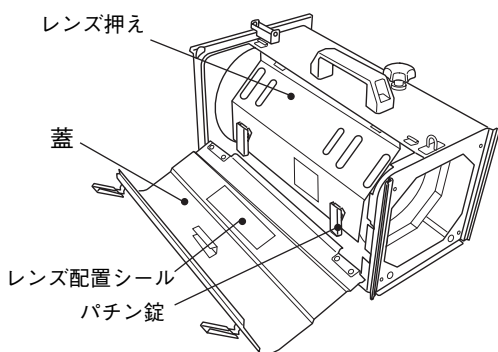
各部の名称と使用方法

●ピントの調整
ピント調整ハンドルを回して、使用目的に合ったピントに調整してください。

エフェクトマシンへの取付方法

1. エフェクトマシンの先玉ストッパを外側に押しながら、オブジェクトユニットの差込部を差し込んでください。
2. 先玉ストッパはオブジェクトユニットが正しく装着されると自動的にロックされます。確実にロックされたことを確認してください。
3. エフェクトマシンの落下防止ワイヤをオブジェクトユニットの落下防止ワイヤ取付金具にかけてください。

※別途、併用するエフェクトマシンの取扱説明書を参照してください。

落下防止ワイヤの点検は、取扱説明書にある項目に従い行ってください。落下防止ワイヤに異常がある場合は交換してください。
また、一度でも落下防止としてショックが加わったものは、外見が正常であっても新しいものと交換してください。

フィルタホルダ使用方法

1. フィルタホルダの大きさに合わせてカットしたカラーフィルタを、フィルタホルダに装着してください。
2. 先玉前面上部のフィルタホルダ枠蓋を開けて、フィルタホルダを差し入れてください。
3. フィルタホルダ枠蓋を閉じ、フィルタホルダ固定金具を回して、フィルタホルダをロックしてください。

レンズの清掃

レンズが汚れると照度低下の原因となります。適時、清掃を行ってください。

1. パチン錠を外して蓋を開けてください。
2. 内部のレンズ押えを固定するパチン錠を外し、レンズ押えを外してください。
3. レンズを取り出し、柔らかい布などで埃を払ってから、傷を付けないように丁寧に拭いてください。
4. 蓋の裏側に貼られているレンズ配置シールまたは次ページの表を参考にして、レンズを元の位置に正しく入れ、レンズ押えを取り付けてください。
5. レンズがレンズ押えにより確実に保持されていることを確認してから、蓋を閉めてください。

消灯直後は高温になっていますので、レンズの清掃は行わないでください。やけどのおそれがあります。

不安定な状態でレンズの脱着を行わないでください。レンズ、絞り板、レンズ押えが落下し、物的損害、けがの原因となります。

レンズ位置

レンズの配置は、下の表に従って戻してください。表において、数字はレンズに刻印されている数字を意味します。
※ SDD3-4 はフィルタホルダ側中のレンズ以外（形状が異なります）、すべて同じレンズのため刻印はありません。

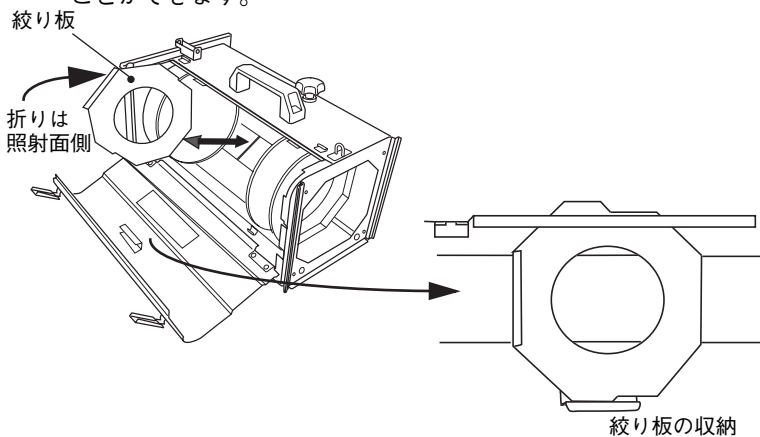
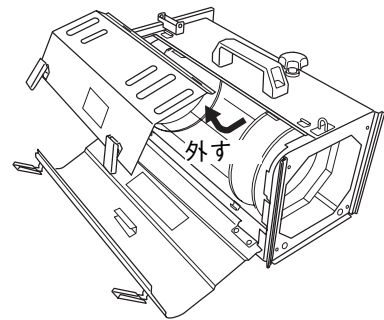
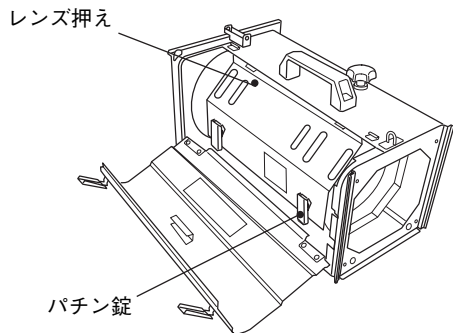
レンズの戻す向きと場所をかえることにより、標準（シャープ）の画質のほかに、輪郭がぼやけた像（ソフト）を映し出すことができます。
※ SDD3-4 はぼやけた像（ソフト）仕様にすることはできません。

			◀ フィルタホルダ側					スポットライト側 ▶
SDD3-4	カバーのスロット形状				絞り板			
	レンズ向き	シャープ						
			SDD3-4はソフト仕様にはできません。					
SDD3-6	カバーのスロット形状				絞り板			
	レンズ向き	シャープ	4				1	1
		ソフト		1		1		
SDD3-8	カバーのスロット形状				絞り板			
	レンズ向き	シャープ	6				3	3
		ソフト		3		3		
SDD3-10	カバーのスロット形状				絞り板			
	レンズ向き	シャープ	7				5	5
		ソフト		5		5		
SDD3-12	カバーのスロット形状				絞り板			
	レンズ向き	シャープ	5					2
		ソフト		5			5*	
SDD3-16	カバーのスロット形状				絞り板			
	レンズ向き	シャープ	7					4
		ソフト		7			7*	

※ ぼやけた像（ソフト）仕様の場合、取り外したレンズは大切に保管し、割れ・傷などのないよう十分気をつけください。

※ SDD3-12、SDD3-16 は、輪郭がぼけた像（ソフト）に設定する場合、＊印のついているレンズ（別売り品）が一枚必要になります。

絞り板の使用方法

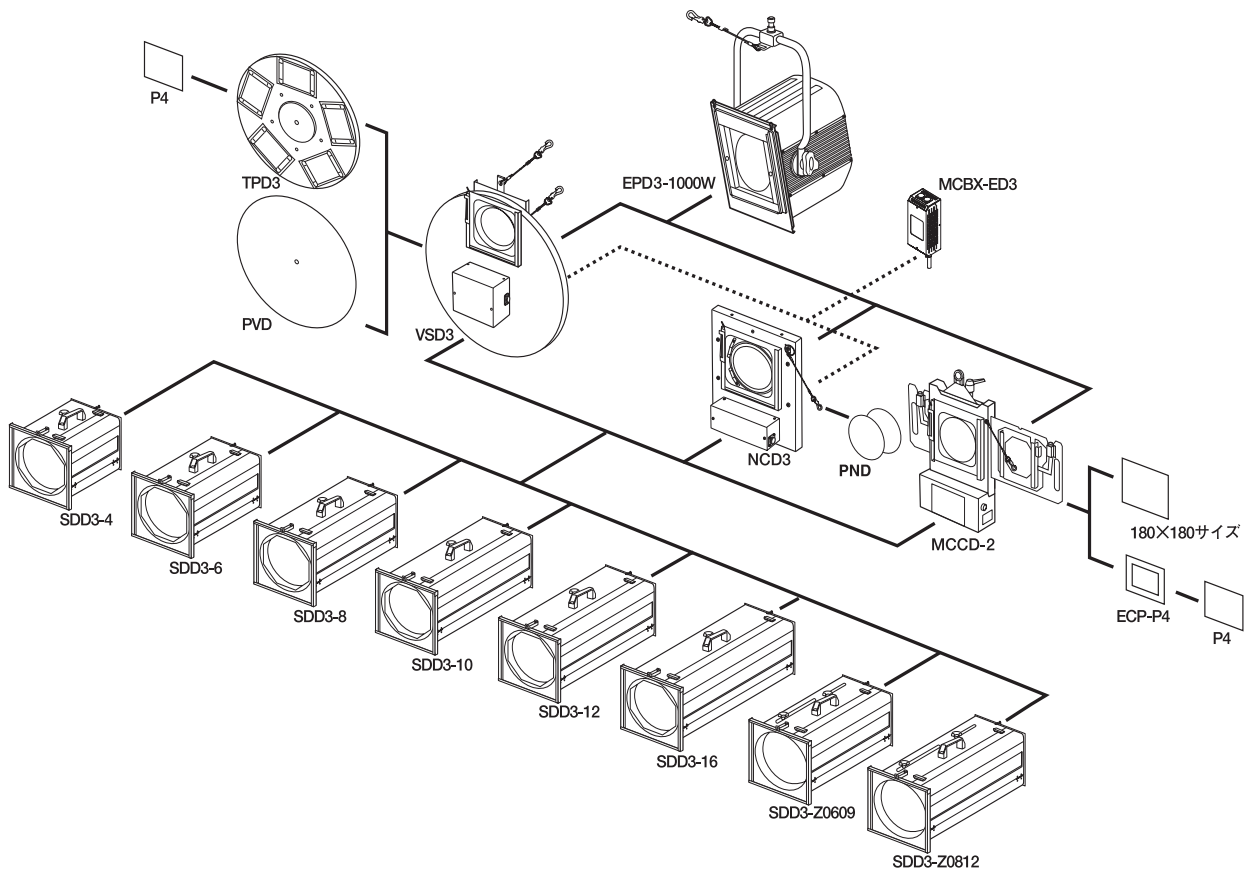
外す

オブジェクトユニットには、あらかじめ絞り板が附属されています。絞り板を使用することで、よりはっきりとした画像を投影することができます。

1. パチン錠を外して蓋を開けてください。
2. 内部のレンズ押えを固定するパチン錠を外し、レンズ押えを外してください。
3. 絞り板を脱着します。

※絞り板を使用するときは、図のように折りを照射面側にしてください。

※絞り板を使用しないときは、図のように蓋の内側に収納しておくことができます。

システム図

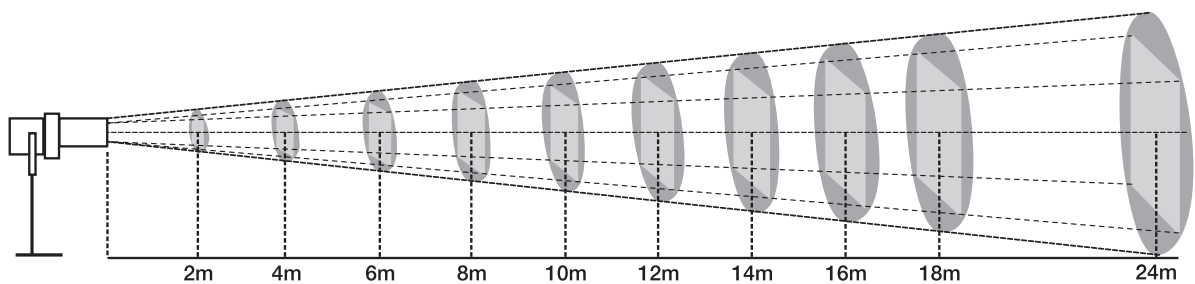
P4
TPD3
PVD
VSD3
EPD3-1000W
MCBX-ED3
NCD3
PND
MCCD-2
180×180サイズ
ECP-P4
P4
SDD3-4
SDD3-6
SDD3-8
SDD3-10
SDD3-12
SDD3-16
SDD3-Z0609
SDD3-Z0812

照度データ

●照度データ（JS100V1000WC/M 使用時の中心照度）

単位:lx

	投光距離									
型式名称	2m	4m	6m	8m	10m	12m	14m	16m	18m	24m
SDD3-4	1990	513	231	131	ー	ー	ー	ー	ー	ー
SDD3-6	6410	1670	751	426	274	191	ー	ー	ー	ー
SDD3-8	11000	2870	1300	736	474	330	243	187	ー	ー
SDD3-10	ー	4420	2000	1140	733	511	377	289	229	ー
SDD3-12	ー	6510	2930	1660	1070	743	547	419	332	187
SDD3-16	ー	11600	5230	2960	1900	1330	977	749	593	335

投影面の大きさ

●投影面の大きさ

P4 エフェクトパターン（外形寸法 100mm x 125mm、原画有効寸法 80mm x 100mm）を投影した場合　単位:m

	投光距離									
型式名称	2m	4m	6m	8m	10m	12m	14m	16m	18m	24m
SDD3-4	1.7 × 2.1	3.3 × 4.1	4.9 × 6.1	6.5 × 8.1	ー	ー	ー	ー	ー	ー
SDD3-6	1.1 × 1.4	2.2 × 2.7	3.2 × 4.0	4.3 × 5.3	5.3 × 6.6	6.4 × 8.0	ー	ー	ー	ー
SDD3-8	0.8 × 1.1	1.6 × 2.1	2.4 × 3.1	3.2 × 4.1	4.0 × 5.1	4.8 × 6.1	5.6 × 7.0	6.4 × 8.0	ー	ー
SDD3-10	ー	1.3 × 1.7	2.0 × 2.5	2.6 × 3.3	3.2 × 4.1	3.9 × 4.9	4.5 × 5.7	5.2 × 6.5	5.8 × 7.3	ー
SDD3-12	ー	1.1 × 1.4	1.6 × 2.0	2.2 × 2.7	2.7 × 3.4	3.2 × 4.0	3.8 × 4.7	4.3 × 5.4	4.8 × 6.0	6.4 × 8.0
SDD3-16	ー	0.8 × 1.0	1.2 × 1.5	1.6 × 2.0	2.0 × 2.5	2.4 × 3.0	2.8 × 3.5	3.2 × 4.0	3.6 × 4.5	4.8 × 6.0

PND エフェクトパターン（外形寸法 φ148mm、原画有効径 φ130mm）を投影した場合　単位:m

	投光距離									
型式名称	2m	4m	6m	8m	10m	12m	14m	16m	18m	24m
SDD3-4	2.7	5.3	7.9	10.5	ー	ー	ー	ー	ー	ー
SDD3-6	1.8	3.5	5.2	6.9	8.6	10.3	ー	ー	ー	ー
SDD3-8	1.4	2.7	4.0	5.3	6.6	7.9	9.2	10.5	ー	ー
SDD3-10	ー	2.1	3.2	4.2	5.3	6.3	7.4	8.4	9.4	ー
SDD3-12	ー	1.8	2.6	3.5	4.4	5.2	6.1	7.0	7.8	10.4
SDD3-16	ー	1.3	2.0	2.6	3.3	3.9	4.6	5.2	5.9	7.8

注意

警告

警告：取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または負傷を負う可能性が想定される場合や、軽傷または物的損害の発生する頻度が高い場合に用いています。

●この機材は演出空間用の照明機材です。舞台・スタジオなどの演出空間の用途以外には使用しないでください。一般用照明機材として使用する製品ではありません。

●機材を分解したり改造したりしないでください。
落下・故障・火災の原因となります。

注意

注意：取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う可能性が想定される場合や、物的損害のみの発生する頻度が高い場合に用いています。

屋内用の製品です。
●この機材は屋内用の製品です。屋外では使用しないでください。屋外で使用すると、絶縁の劣化により火災の原因となることがあります。

取扱説明書をお読みください。
●機材の取り付け・設置・使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用してください。

取り扱いは専門家が行ってください。
●機材の取り付け・設置・取り扱い・使用前の準備・点検・整備の作業は「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。また、据付に電気工事が伴う場合は、電気工事士などの熟練者（専門家）が行ってください。未熟練者だけの対応は事故をまねくおそれがあります。

取り付け・設置時の注意
●本体表示および取扱説明書に従って正しく取り付けてください。また、吊り下げて使用の場合は機材本体の落下防止ワイヤを取扱説明書に従って正しく取り付けてください。指定以外の取り付けを行うと、本体の破損や火災・けがの原因になります。

使用時の注意
●湿気や水気、埃の多いところでは使用しないでください。故障の原因となります。また、埃や紙吹雪などがたまったまま使用しないでください。火災の原因となります。
●不安定な場所や、燃えやすいものの近くで使用しないでください。倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

保管について
●埃の多い場所や湿度が高く結露しやすい場所での保管は避けてください。さびなどによる機能劣化の原因となります。
●再使用するときは点検を行って異常のないことを確認してから使用してください。火災・故障の原因となるおそれがあります。

保守点検について
●交換部品は、当社指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。指定外の取り扱いは器具の機能劣化・火災をまねくおそれがあります。
●レンズの清掃は、レンズに傷を付けないように行ってください。レンズの傷はレンズの破損やけがの原因となります。
●地震などの天災の後は、使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が必ず点検を行ってください。未熟練者だけでの対応は事故をまねくおそれがあります。

点検と修理
●機材本体および部品の寿命は、使用頻度、設置環境、取扱状態、保守管理状態によって異なります。性能および安全性の確保のため、正しい維持管理を行ってください。また機材の日常点検を実施し、点検の結果に従ってそれぞれの処置をとってください。
●使用期間における経年変化、または使用状況によっては部品の消耗・劣化や絶縁性能の低下がありますので、専門技術者による定期点検をおすすめします。定期点検保守契約については、当社にお問い合わせください。

●補修用部品の最低保有期間は 8 年です。

オブジェクトユニットの日常点検項目、および処置

分類	点検項目	日常点検				メーカー修理依頼
		清掃	増締め	交換	その他	
本体	差込部、その他本体各部に異常変形や損傷がないか。					○
	ピント調整部、その他可動部の操作は円滑で、確実に固定できるか。					○
	ねじに緩みはないか。		○			
	本体内に塵埃や紙吹雪などがないか。	○				
レンズ	レンズの変色、ひび割れ、破損などの異常はないか。					○
	レンズ押え金具に変形や損傷はないか。					○
	レンズは汚れていないか。	○				

丸茂電機株式会社

●本社・営業部　〒101-0041　東京都千代田区神田須田町 1-24　TEL.(03)3252-0321
●大阪営業所　〒530-0047　大阪市北区西天満 4-11-23(満電ビル)　TEL.(06)6312-1913
●名古屋営業所　〒460-0008　名古屋市中区栄 4-1-1(中日ビル)　TEL.(052)263-7425
●福岡営業所　〒810-0041　福岡市中央区大名 1-14-45(Q'iz TENJIN)　TEL.(092)741-4762
●広島営業所　〒730-0022　広島市中区銀山町 1-11(フジスカイビル)　TEL.(082)249-6400
●札幌営業所　〒060-0061　札幌市中央区南一条西 7-12(都市ビル)　TEL.(011)261-0321
●仙台営業所　〒980-0802　仙台市青葉区二日町 3-10(グラン・シャリオビル)　TEL.(022)263-0221